

水産業強化支援事業事後評価報告書

千葉県農林水産部水産局水産課

政策目的		ノリ漁業経営の強化	
政策目標		資源増殖目標	30 1
事業実施主体		新富津漁業協同組合	
実施地区名		新富津地区	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成30年度	令和2年度
交付金額		176,550千円	
事業計画の内容		大型ノリ自動乾燥機10連型(9,000枚/時)、ノリ加工施設の上屋、監理業務委託	
評価	成果目標	漁労所得の増加率を指標とし、計画時点の現状値■■■■円から145%の向上。	
	現状値	■■■■円（令和2年度末時点）	
	目標値	■■■■円（令和2年度末）	
	(1) 現状値の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・漁労所得の増加率を指標として、受益者である■■戸のノリ共販出荷実績及び所得税に係る確定申告書を用いて計画時の現状値（H24～28の5年間の平均）と目標値を算出した。現状値についても、目標値と同様に受益者■■名の所得税に係る確定申告書から算出した。 ・成果目標の達成状況は、計画策定時の目標値■■■■円（計画時点での現状値の145%）に対し、目標年度の現状値は■■■■円であり、計画時点での現状値の85%、かつ目標値の58%となり目標達成とならなかった。 	
(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	施設の整備に伴い、新たな雇用が発生したほか、漁業者家族が行っていた陸上加工作業が削減されたことにより、労働環境の改善が図られた。		

<p>(3) 所見</p>	<p>施設の整備により従来家族労働によっていた陸上加工作業が漁協に委託できるため、労働力を海上作業に振り向けることが可能となり、ノリ罫数の10%増、ノリ生産枚数の増により漁労所得の増加を目指す計画である。</p> <p>施設整備の結果、ノリ罫数は計画時の現状値■罫から目標とした■罫を上回る■罫 (R2) に22%増を達成した。</p> <p>しかし、魚類による食害などを原因としたノリ不作の影響が大きく、ノリの生産枚数は計画時現状値の出荷枚数■枚に対し、R2実績は■枚、(計画時現状値の60%) と大幅な減少となったことにより、漁業所得の向上は達成できなかった。</p> <p>ノリのは不作は県内全域で発生しており、現状値の算出基準年 (H24~28平均) と比べても生産は大幅に減少している。千葉県漁連の県内のり共販枚数は、H24~28漁期の平均235,163千枚に対し、R2漁期は、73,411千枚 (H24~28平均の31%) であった。うち、新富津漁協は、H24~8漁期平均■枚に対し、R2漁期は■枚 (同27%) となった。</p> <p>同共販金額では、H24~28漁期の平均、25億円に対し、R2は10億9千万円 (同44%) であった。うち新富津漁協は、H24~28漁期平均■円に対し、R2は■ (同37%) であった。</p> <p>不作による生産枚数減少が、目標未達成の要因となった。</p>
<p>(4) 評価機関への意見等</p>	
<p>今後の改善方向等に関する分析</p>	<p>施設整備による陸上労働の軽減は達成され、罫数は目標を上回って増加したにもかかわらず、生産枚数が減少し、所得が減少して計画目標未達成となった。その要因はクロダイ等による食害と考えられていることから、食害対策による生産枚数の増加により目標達成を目指す。</p> <p>改善の方向としては、これまでも取り組んできた防除ネットの設置に加え、ノリ漁場近傍でのクロダイ漁獲を複数の漁法で行う。また防除ネットについては魚の側に慣れが見られることから、令和2年度に県が開発した新方式の防除ネットを導入するなど、さらに食害対策を進める。</p> <p>整備した施設の活用による陸上労働力の軽減効果により罫数は増加しているため、今後は養殖漁場で行う食害対策を進めることでノリ生産枚数が増加し、目標達成が可能となる。</p>